

令和7年度 信学会安茂里幼稚園 「園の自己評価」

1. 園の教育目標

『みつけよう やってみよう かんがえよう』

2. 本年度の育てたい子どもの像

『夢中になって遊ぶ子』～遊んでワクワク だいすきいっぱい 心も体も大きくなあれ～
(自ら ひと もと こと とつながり 自ら学び 自分の力とする)

3. 自己評価

A…十分達成されていると思う

B…達成されていると思う

C…取り組んでいるが、成果が十分でないと思う

D…取り組みが不十分であると思う

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	C
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4. 学校関係者評価委員（モニター）からの評価

- ・子どもたちが自分から「やりたい」を発信し活動していることは人として生きる上での土台作りにつながっていると感じる。
- ・子どもの姿から、子ども主体で行事を作り上げていることが分かる。
- ・小学校との交流は、小学生にとっても異年齢での交流からの学びになっている。
- ・地域との関わりを増やすためには、園から地域に依頼するとよい。
- ・未就園のお家には、公開やイベントの情報をより具体的に分かりやすく発信するとよい。

5. 今年度の装具的な評価と次年度への課題

- ・教育目標や保育の良さを保護者や地域の方に理解をしていただいている。
- ・園で大事にしている、子どもたち一人ひとりを大切にすることや、子どもの「やりたい」を叶えて学びにつなげる保育を、子どもの姿を通して感じてもらえている。
- ・次年度も、職員一人ひとりがそれぞれの立場で子どもの育ちを支え、子どもたちの姿を語り合うことを大切にしていきたい。また、地域との関わりや園児募集における情報発信にも力を入れていきたい。